

要 望 書

苦 小 牧 電 業 協 會

日ごろより、私ども電気工事業界に対しまして、格別のご理解とご支援並びにご高配を賜り深く感謝申し上げます。

電気は市民生活や企業活動に直結するライフラインとなっております。私ども電気設備工事に携わる苫小牧電業協会は、その適正維持を重要な社会的責務であると認識し、年々高度化、複雑化する電気設備施工に対応すべく、新技術習得、資格取得、あるいは研修会を開催するなど技術向上に努めております。

地域基幹産業として信頼される電気工事業界を目指し、奉仕活動などにも積極的に取り組み、懸命に努力しているところであり、今後も苫小牧市発展の礎たらんと決意を新たにしているところです。

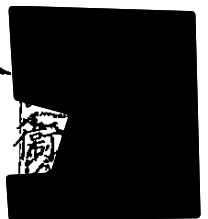
その為には、苫小牧電業協会会員の経営の安定化、技術・技能者の安定雇用が必要不可欠であると思っております。

つきましては、これらの事情を酌量いただき、次のとおri要望いたしますので特段のご理解、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月24日

苫小牧市長 岩倉博文様

苫小牧電業協会
会長 中村



要 望 事 項

ゼロカーボンシティ、再生可能エネルギーについて

1. 災害時の電力確保について

市民の安心・安全の確保のため、避難所に指定されている学校等に、太陽光発電等の再生エネルギーを用いた発電設備、大型蓄電池、非常用発電機等による電力確保を計画的に整備するようお願いいたします。

2. 公共施設の再生可能エネルギーの導入及び街路灯設置工事の継続発注について

2050年ゼロカーボンシティ実現のため、再生可能エネルギーの普及について、積極的に公共施設への計画的な導入を行っていただき、街路灯設置工事は従来通りの発注をお願いいたします。

発注工事について

1. 電気工事、電気通信工事における地元企業の活用

主要資材等の関係でメーカーに発注される工事、またプロポーザル、PFI 等による工事において地元企業が関われる公示内容での発注をお願いいたします。

2. 受注機会の増大及び早期発注について

近年発注件数が減少している電気工事について、大規模工事については分割発注など、発注件数を極力増やし受注機会の確保にご配慮して頂き、予算成立後の早期発注をお願いいたします。

3. 分離発注継続

従来から分離発注推進の要望をしており、結果としてほぼ 100%の発注状況となっておりますが、今後とも継続して分離発注継続に努めていただくようお願いいたします。

苦小牧電業協会役員

役職名	氏名	会社名
会長	中村 衛	(株) 中村電気
副会長	大滝 力緒	(株) 錦戸電気
副会長	砂金 和幸	(株) 電友社
理事	佐藤 泰幸	(株) ゴダイ電設
理事	野田 泰正	野田電気設備(株)
理事	三浦 大助	(株) 電気工事西川組
理事	中山 卓也	(株) 新興電気